

堀江 優希 個展

HORIE Yuhki solo exhibition

KUNST

ARZT

www.kunstarzt.com

こそあどの反復横跳び

This,That,Repetition Jump

KUNST ARZT では、堀江優希の個展を開催します。

堀江優希は、イメージの認識を考察するアーティストです。

「パイナップルの木々 (2025)」では、様々な角度や距離など、複数の視点から撮られたパイナップルの木の写真を幕のようなビニールに封印しました。全体像を浮かび上がらせる試みでは、実物とは似て非なるモノが立ち現れました。

ピカソらのキュビズム、ホックニーのフォトコラージュらと通じる“見ること”への間をお楽しみください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



1年前のひまわり

2025 年

木、水性インク

735×1065mm

経験したこと、見たものを思い出そうとする時、イメージ像はその都度生成され、解釈され、組み替えられ立ち上がる。そういった事実とはズレた、それ自体で再解釈されたイメージを表現する。

経歴

2001 年 大阪生まれ

2025 年 嵯峨美術大学美術学部造形学科 油画・版画領域卒業

2025 年 京都市立芸術大学大学院版画専攻在籍

個展

2024 年 嘘つきの所業 嵯峨美術大学ホールギャラリー

グループ展

2023 年 SAGADASH' 23 同時代ギャラリー

2024 年 SAGADASH' 24 同時代ギャラリー

2025 年 LITE 展 アートゾーン神楽岡

2026 年 2 月 3 日 (火) - 2 月 8 日 (日)

12:00-18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

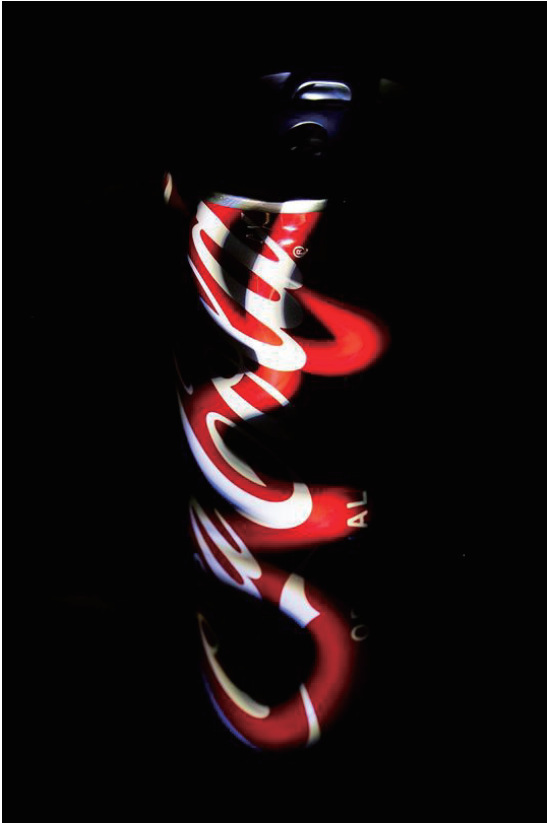
090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

こそあどの反復横跳び
This,That,Repetition Jump

アーティストステートメント

「見る」という行為から立ち上がるイメージ（像/想像）について
版、写真、映像などを用いて表現探求する。



Surface 2
2025年
インクジェットプリント
1680×1118mm
対象物に対する視覚の被膜性とそれとともなる表面情報からなる立体イメージをストレートフォトで表現する。



パイナップルツリーのラフボックス
2025年
木、ビニール、水性インク
1600×640×640mm
対象物を全体で捉えようとし、大まかなサイズ感と方向、それにともなった像で構築される”大まかなイメージ立像”を表現。



パイナップルの木々
2025年
ビニール、水性インク
1835×2600mm
対象物を全体で捉えようとするとき、様々な角度や距離感で見て頭の中でイメージを構築する。そういった「見る」という行為によって作り上げられたイメージ像を幕のようなビニールによって表現する。



パースト：命名
2025年
映像
2分44秒
イメージをパースト（貼る・付与する）ことによる、物や場や意味合い価値の変容を映像によって表現する。